

## 令和5年度 第1回帯広市緑化審議会 議事録（概要）

- 1 日 時 令和5年5月31日（水）10：30～11：45
- 2 場 所 みどりと花のセンター
- 3 出席委員 橋本委員長、天内委員、鎌田委員、嶋宮委員、清水委員、新津委員、中田委員  
西岡委員、合歓垣委員、廣瀬委員、藤平委員、三品委員、三日市委員 13名  
（欠席：小原委員、渡邊委員 2名）
- 4 事務局 篠原部長、高橋参事、広沢室長、林中室長、中村道路維持課長、黒野みどりの課長、  
嵯峨みどりの課長補佐、吉澤公園係長、上川原主任、高橋主任補、上野係員、  
林係員

### 5 議 事

#### （1）報告事項

- ・帯広市の緑化に関する取組みについて

#### （2）その他

### 6 議事概要

#### （1）報告事項

- ・「帯広市の緑化に関する取組みについて」

（事務局から内容説明）

委 員： 地域団体により管理がなされている公園について、私の町内会でも高齢化による担い手不足があるが、地域団体より今後管理が困難であるという申出はあるか。

事務局： 地域団体から、高齢化や担い手の不足という課題について相談を受けることはある。

地域の公園は、近隣で生活する皆様が最も利用しており、我々としては、できる限り地域の協力のもと管理していきたいと考えている。管理が困難である申出があった際は、協議したうえで対応を検討していく。

委 員： 地域団体による管理が出来なくなり、公園が荒れてしまう事にならないような体制を将来的に考えていただきたい。

委 員： コロナ禍にも関わらず、帯広の森・はぐくむの利用者が増加するなど、市民のニーズがあることを改めて感じた。桜並木整備事業について、市内では生育不良の桜を見かけることもあるため、帯広市の気候にあった植栽方法などの工夫を今後も実施して欲しい。

## (2) その他

委員： 帯広の森 50 周年記念事業実行委員会の委員には、どのような方が就任しているのか。

事務局： 森づくり活動団体に所属している方や有識者に就任いただいている。

委員： 緑ヶ丘公園十勝池の水質は現在どのような状況か。また水源はどこか。

事務局： 池でのボート利用に大きな問題はない水質である。水源について、以前は雨水も流入していたが、現在は地下水を汲み上げている。

委員： 川西インターチェンジ周辺での工業団地造成について、吉村市長の近代的田園都市構想では、帯広の森を外郭としその内側に市街地を形成しようという考えであったが、今回外側にあたる土地であり、総合計画や都市計画マスタープランの位置付けはどのようになるのか。また、昨日、千歳市に建設される次世代半導体工場の完成予想図を報道で見たが、屋上緑化をはじめ自然に配慮した計画になっている。工業団地造成を進めるうえでも、敷地全体を緑化することなどを考えていかなければならないのではないか。

事務局： 川西インターチェンジ周辺は調整区域であり、本来は建物を抑制する地域であるが、第 2 次帯広市都市計画マスタープランにおいて、必要に応じて工業的な土地利用も検討可能な位置づけをしている。ただし、インターチェンジ周辺に限定したものであり、現在農地であるため、どのような開発が出来るのか検討を進めている状況にある。また、緑化について、工業団地を造成する場合は、これまでの様々な施策をもとに、事業者と協議のうえ進めていく考えである。